作・演出・振付・映像
山本卓卓（範宙遊泳）
出演・振付
北尾亘（Baobab）

となり街の知らない踊り子

となり街の知らない踊り子
THE UNKNOWN DANCER IN THE NEIGHBORHOOD

山本卓卓×北尾亘

2026.11.27 FRI — 29 SUN
KAAT 神奈川芸術劇場〈大スタジオ〉

2026.12.4 FRI — 5 SAT
クリエイティブスタジオ
（札幌市民交流プラザ3階）

いつからか人の悪口を言わなくなりました。
たぶん悪意を笑えなくなってきているからです。
人を傷つけないように薄氷を踏むように歩いていて、それでも思いの丈をぶつけられる相手は本当にごくわずかになりました。
もしかするとその相手はいつか、AI だけになるかもしれません。そんなの嫌です。
世の中がどんどんクリーンになっている気がします。
言葉も物語も、人も街も、ますます他人に迷惑をかけないよう表向き綺麗になってゆくでしょう。
相手を求めることは幼稚なこととされ、人の温もりはますます恥ずかしいものとして語られるかもしれません。
そういう意味で、この作品が与える効果を懐かしいものとして棚に入れていいとは思っていません。
地を這うようにして手にした言葉と身体を、平和のためにあっさり手放していく瞬間を、あなたの心に新鮮に立ち上げたい。
たとえ地獄にいてさえ、人に夢を見たって良いと思うのです。

山本卓卓 PROFILE

©雨宮透貴

劇作家・演出家・俳優。演劇集団範宙遊泳代表。1987 年山梨県生まれ。観客の倫理観を揺さぶる劇世界を、加速度的に変貌する現代情報社会とともに構築している。代表作に『幼女X』『となり街の知らない踊り子』、PARCO PRODUCE 2024『東京輪舞』（演出：杉原邦生）、PARCO PRODUCE 2026『ジン・ロック・ライム』（演出：白井晃）。また『ここにたち、ここにたつ』『オブジェクト・ストーリー』『オブジェクト・ラブ・ストーリー』など、建築に物語を与えるドラマ・インスタレーション作品を数多く発表し、青少年・福祉施設向けワークショップも手掛ける。アジア諸国・北米での公演・国際共同制作を展開し、ニューヨーク「Under the Radar Festival」招聘参加、アジアン・カルチュラル・カウンシル（ACC）2018 グランティアーティスト。Bangkok Theatre Festival 2014 最優秀脚本賞・最優秀作品賞（『幼女X』）、第 66 回岸田國士戯曲賞（『バナナの花は食べられる』）受賞。

「演劇とダンスのハイブリッドな作品を生もう。」力強い山本卓卓の言葉から始まった我々の旅路は、ずいぶんと長いものになりました。
架空の世界をカラダで知覚するように立ち上げた今作は、いつしか（ 上演を繰り返す中で ）この世界自体を知覚するような、大きな存在となっています。
平穏ではない『となり街〜』の世界は 11 年前、現実世界とかけ離れていたからこそ喰らいつくように体現できていました。肉体のピークを超え始めた今は、この物語と登場人物たちが現実世界とかけ離れていくよう願って舞台に立ちたい。
「体力的には最後の上演かな？」と思う一方、まだこの“ハイブリッド”に名前がない以上はこれからも旅路が続いていくような気もしています。それはいつだって我々が作品世界の外側まで対話を重ねて、世界が変わり続けることを栄養にして育ってきたからです。

北尾亘 PROFILE

©Kenji Kagawa

幼少期よりミュージカルを中心に舞台芸術に関わり、クラシックバレエからストリートダンスまで多様なジャンルを経験。2006年より木佐貫邦子に師事。2009年ダンスカンパニー「Baobab」を旗揚げし、17回の単独公演開催のほか、国内外のフェスティバルに参加。コンテンポラリーダンス界の発展を願うフェスティバル『DANCE×Scrum!!!』を主催しディレクターも務める。振付家として[Bunkamura・東宝ミュージカル・パルコプロデュース]などの舞台作品や、TVドラマ・CM・映画などに多数振付。ダンサー・俳優として[山本卓卓・近藤良平・杉原邦生・中屋敷法仁・三浦直之]などの作品に出演。俳優4人の演劇ユニット「さんぴん」メンバーとしても活動。日本全国でWS講師やアウトリーチ活動を展開し、ダンスの普及活動にも積極的に取り組む。尚美学園大学・桜美林大学・多摩美術大学　非常勤講師。『となり街の知らない踊り子』ニューヨーク公演（2022年）にて、ベッシー賞(ニューヨーク・ダンス&パフォーマンス賞) OUTSTANDING PERFORMER部門ノミネート。

山本卓卓×北尾亘

となり街の知らない踊り子
THE UNKNOWN DANCER IN THE NEIGHBORHOOD

作・演出・振付・映像
山本卓卓（範宙遊泳）

出演・振付
北尾亘（Baobab）

2026.11.27 FRI —— 29 SUN
KAAT 神奈川芸術劇場〈大スタジオ〉

2026.11.27 FRI —— 29 SUN

27 FRI	28 SAT	29 SUN
	14:00◎	14:00◎
19:00★	18:30	

受付：開演45分前｜開場：開演30分前
上演時間：約90分程度を予定
★：アフタートークあり
◎：託児サービスあり
公演1週間前までに要予約・有料、対象日以外のご利用も下記までお問い合わせください
（ご予約・お問い合わせ マザーズ：0120-788-222）

＜チケット＞
一般：4,500円
U29：3,500円
高校生以下：1,000円（一律）
障がい者割引：3,500円(一般)／2,500円(U29)
遠方割引：3,500円(一般)／2,500円(U29)
当日券：5,000円(一般)／4,000円(U29)

＜チケット取り扱い＞
10月3日（土）10:00発売

【事前精算】
▶ 一般・U29のみ
○**演劇最強論-ing**（会員登録不要・手数料不要）
ローソン、ミニストップ店内Loppiで発券
○**ローソンチケット**　Lコード：30312
ローソン、ミニストップ店内Loppiで発券
○**チケットぴあ**　Pコード：545506
セブンイレブンで発券
○**イープラス**
ファミリーマート、セブンイレブンで発券
○**チケットかながわ**（10/2(金)10:00先行販売）
https://www.kaat.jp 0570-015-415 (10:00〜18:00)
窓口：KAAT神奈川芸術劇場2階 (10:00〜18:00)

【当日現金精算】
▶ すべての券種
○**R7 TICKET SERVICE**（会員登録不要・手数料不要）
当日受付にて現金精算、チケット受け取り。

＜公演詳細・ご予約＞
https://www.hanchuyuei2017.com/tonarimachi2026

＜注意事項＞
○未就学児入場不可。
○各種割引チケットは証明書をご提示ください。
○障がい者割引は介護者1名様も同一料金で承ります。フォームより2枚でお申し込みください。
○遠方割引は一都三県(東京・神奈川・千葉・埼玉)以外よりお越しの方が対象です。
○入場整理番号付き自由席。
○整理番号はご予約順に割り振られます。
○開場時チケットに記載されている整理番号順にご入場いただきます。
○事前精算チケットはクレジット決済またはコンビニ入金後事前発券が必要です。
○ご予約の変更やチケットの再発行はできません。
○車椅子でご来場の方はスペース確保のため事前にご連絡いただけますと幸いです。
○開演時間を過ぎますとお席にご案内できない場合がございます。
○本作品は全編日本語字幕付きで上演いたします。

＜お問い合わせ＞
合同会社範宙遊泳(09061821813)
hanchu.ticket@hanchu-yuei.com

KAAT 神奈川芸術劇場
〒231-0023 神奈川県横浜市中区山下町281
TEL.045-633-6500（代表）　FAX.045-681-1691
https://www.kaat.jp

2026.12.4 FRI —— 5 SAT
クリエイティブスタジオ（札幌市民交流プラザ3階）

〒060-0001
北海道札幌市中央区北1条西1丁目
札幌市営地下鉄
大通駅 30番出口から西2丁目地下歩道より直結
https://www.sapporo-community-plaza.jp/theater.html

2026.12.4 FRI —— 5 SAT

4 FRI	5 SAT
18:30	13:00

受付：開演60分前｜開場：開演30分前
上演時間：約90分程度を予定

＜チケット＞（全席指定／税込）
前売：一般 3,500円　U25 2,000円
当日：一般 4,000円　U25 2,500円

＜チケット取り扱い＞
プラザメンバーズ先行 先着発売　9月28日（月）10:00〜

【WEB会員限定】
○札幌市民交流プラザメンバーズサイト
https://sapporo-cp-members.jp/
【DM会員限定】※会員カードをご用意ください。
○札幌市民交流プラザチケットセンター
（札幌市民交流プラザ2階／10:00〜18:00 水曜・休館日を除く）
○道新プレイガイド
TEL 0570-00-3871（営業時間10:00〜19:00 火曜定休）
（札幌市中央区南1西1-8-2高桑ビルMARUZEN&ジュンク堂書店札幌店地下1階）

一般発売　10月5日（月）10:00〜

○札幌市民交流プラザメンバーズサイト
https://sapporo-cp-members.jp/
○札幌市民交流プラザチケットセンター
（札幌市民交流プラザ2階／10:00〜18:00 水曜・休館日を除く）
○道新プレイガイド
https://doshin-playguide.jp
TEL 0570-00-3871（営業時間10:00〜19:00 火曜定休）
（札幌市中央区南1西1-8-2高桑ビルMARUZEN&ジュンク堂書店札幌店地下1階）
○セイコーマート店内マルチコピー機
（セコマコード：D26120402／11月27日(金)まで）
○チケットぴあ
https://w.pia.jp/　（Pコード：544-935）
○ローソンチケット
https://l-tike.com/　（Lコード：12245）
○エヌチケ
エヌチケ https://ticket.aserv.jp/nt/
会場引取で便利！クレジット購入で各種手数料無料！

＜注意事項＞
○U25＝2001年以降にお生まれの方（未就学児除く）であれば学生に限らずご購入いただけます（オンラインでの購入可）。ご来場時に生年を証明できるものをお持ちください。生年を証明できない場合は一般料金との差額をお支払いいただく場合がございます。
○車椅子席をご希望の方は事前に北海道文化財団（TEL011-272-0501）までご連絡ください。
○未就学児入場不可
○チケットの払い戻し、観劇日時の変更はできません。
○前売券が売り切れた場合は当日券の販売はございませんので、あらかじめご了承ください。
○本作品は全編日本語字幕付きで上演いたします。

＜お問い合わせ＞
【チケットに関するお問い合わせ】
https://www.ws-nt.jp/info/

【公演に関するお問い合わせ】
公益財団法人北海道文化財団
TEL 011-272-0501
（8:45-17:30 土日祝日除く）

hitaruオフィシャルスポンサー
ニトリ、アイングループ、イオン北海道、札幌田中病院、トーア、富士メガネ、札幌丸井三越、ジェイ・アール北海道バス、CO・OP共済、北央病院、北星学園大学、北海道コカ・コーラボトリング、北海道新聞社、ホテルモントレグループ、練成会グループ

MORIHICO.、アミノアップ、伊藤組土建、岩倉建設、岩田地崎建設、大通り矯正歯科、札幌駅前通まちづくり会社、札幌大通まちづくり会社、札幌市交通局、札幌都市開発公社、じょうてつ、ANA、大和証券、トーホーエンジニアリング、日本航空、福山倉庫、ホクリヨウ、北海道エアシステム、北海道科学大学、北海道中央バス、北海道テレビ放送、丸彦渡辺建設、萬田記念財団、三井不動産リアルティ札幌、よつ葉乳業、遠藤興産、北海道ガス、會澤高圧コンクリート、旭イノベックス、SOC、三精テクノロジーズ、ジャパンテクニカルソフトウェア、大東建託、長府サービスステーション、北海道グリーンメンテナンス、豊建商、氏家記念こどもクリニック、クリーンアップ、小鍛冶組、札幌スパインジョイントホスピタル、南一条脳内科、朝日新聞社、アムテック、アルシス、アルファ技研、池田熱処理工業、岩本・佐藤法律事務所、ウエス、H・N・メディック、TAT札幌、北空、栗林商会、五島冷熱、さくら総合会計、札幌商工会議所、さっぽろ内科・リウマチ膠原病クリニック、サッポロホールディングス、さっぽろライラック、札幌労務管理、システム・ケイ、しもでメンタルクリニック、庄内こどもの歯科、新札幌駅前内科循環器、蘇春堂形成外科、大成建設、なりた耳鼻咽喉科アレルギー科クリニック、日本電技、ノース技販、博愛会、はやしたくみ女性クリニック、ひびき、福住泌尿器科クリニック、北海道国際法律事務所、北海道熱供給公社、北海道マツダ、マウントアライブ、みたに胃腸内科、明治安田生命、元町皮ふ科、吉田記念病院、六書堂、和らいふ、札幌テレビ放送、北海道放送、テレビ北海道

札幌文化芸術劇場
hitaru
SAPPORO CULTURAL ARTS THEATER

HOKKAIDO
ARTS FOUNDATION
公益財団法人 北海道文化財団

山本卓卓×北尾亘

となり街の知らない踊り子

THE UNKNOWN DANCER IN THE NEIGHBORHOOD

少ない荷物でダンサーは隣街に旅に出た。
その街では誰もが永遠に他人のままで、
すれ違おうと泣こうと笑おうと殺されようと関心を持たない。
かつての知り合いに再会するも
知り合いはダンサーのことを知らないようだった。
この街ではすべてが不感症的に
通り過ぎ無関心的に交差する。
孤独果てしない
氷点下のコンクリートの上で、
踊ることは
ダンサーに
必要であるのか。

2026.11.27FRI —— 29SUN
KAAT 神奈川芸術劇場〈大スタジオ〉

2026.12.4FRI —— 5SAT
クリエイティブスタジオ
（札幌市民交流プラザ3階）

他者への無関心や無意識のうちの暴力を描き出す山本卓卓のテキストと、
老若男女から電車や犬に至るまで 25 役を巧みに踊り演じ分ける
北尾亘の身体がコラボレートした“演劇 × ダンス”の異色傑作ひとり芝居。

2015年の初演から国内外を旅し
進化を続けるふたりのレパートリー作品が、
４年振り７度目の上演！！！！！！！

作・演出・振付・映像：山本卓卓　出演・振付：北尾亘
美術：中村友美　照明：久津美太地　音響：池田野歩　衣裳：臼井梨恵
映像協力：岸本智也　舞台監督：原口佳子　演出助手：櫻井裕代
デザイン：渋木耀太　宣伝写真：鈴木竜一朗 ＜『となり街の知らない踊り子』(2022年11月) 東京芸術劇場シアターイースト＞
制作：藤井ちより　プロデューサー：坂本もも

協力：Baobab　ゴーチ・ブラザーズ　合同会社Conel　モモンガ・コンプレックス　小声　DINARYworks　劇団ヅッカ　MEMELT　合同会社ロロ
　急な坂スタジオ　ローソンチケット　チケットぴあ　イープラス　R7 TICKET SERVICE　チケットかながわ
助成：芸術文化振興基金　神奈川県マグカル展開促進補助金
（横浜公演）提携：KAAT神奈川芸術劇場　企画制作・主催：合同会社範宙遊泳
（札幌公演）主催：公益財団法人北海道文化財団　札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市芸術文化財団）　制作協力：ダブルス　山下遥華（Aercs企画）　後援：北海道

芸術文化振興基金

神奈川県文化プログラム
MAG CUL
マグカル
かながわ県民文化祭